【所轄地区：内牧地区】

内牧地区公民館・内牧南公民館

内牧

◇ 運営の基本方針

生涯学習の拠点として、住民の学習要求に即した事業を展開し、各種情報を提供する。また、地域の団体・組織と連携して地域連帯意識の高揚と生活文化の発展を図る。

◇ 重点施策

1　住民の学習要求に応え、学習機会の充実を図るため生涯の各時期に応じた事業を実施する。
2　地域住民の連携と活性化を図りつつ、自治意識を高めるため地域全体で取り組む事業を実施する。
3　自然に恵まれた特色を生かして、地域住民が喜びを感じる事業を実施する。

◇ 重点事業

1　家庭教育学級
2　趣味の講座・教養講座
3　内牧地区体育祭・文化祭
4　内牧ふれあい講座

内牧地区公民館
所在地　〒344-0051　春日部市内牧４３９８番地
ＴＥＬ　０４８－７５２－３２５５
ＦＡＸ　０４８－７５２－３２５５
Ｅ-mail　uchikou@city.kasukabe.lg.jp

内牧南公民館
所在地　〒344-0051　春日部市内牧１４９８番地
ＴＥＬ　０４８－７６１－００６５
ＦＡＸ　０４８－７６１－００６５
Ｅ-mail　uchinankou@city.kasukabe.lg.jp

職　員　　館　　長（兼務）　島　﨑　勇　治
　　主　　査（兼務）　綿　田　　篤
　　主　　任（兼務）　斉　藤　久美子
　　主　　事（兼務）　赤　坂　亮　祐（社会教育主事）
　　フルタイム（兼務）　金　子　喜久江

内牧地区　1

事業名 テーマ	子育てサロン　うちまきプレイルーム	対象	未就学児と その家族	定員	なし
ねらい	気軽に親子で遊べるスペースとして開放し、乳幼児を抱える保護者同士のコミュニケーションの場とする。				
協力機関 及び団体	内牧地区更生保護女性会　ほか	特色 位置づけ	子育て支援事業 重点事業	SDGsの目標No	3
会場	内牧南公民館　大会議室	教材 資料等	遊具・玩具・絵本　等		
実施までの経過	4月　事業計画書提出 6月　第1回幼児家庭教育学級同時開催 9月　第2回幼児家庭教育学級同時開催 12月　第3回幼児家庭教育学級同時開催 2月・3月　まん延防止期間中の為、中止	PR方法	広報かすかべ 公民館だよりに掲載 安心安全メール配信（5月・7月）		
		受付方法	開催時間中に自由参加 コロナ期間で事前予約先着10組		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月1日（木）	9:00～12:00	「こいのぼりを作りましょう」		0	0	0	内牧地区更生保護女性会
5月13日（木）	9:00～12:00			0	0	0	〃
6月3日（木）	9:00～12:00	幼児家庭教育学級同時開催 「たのしさ100％プレゼント」	講演	3	10	13	山森澄子・山田優子
7月1日（木）	9:00～12:00			2	6	8	内牧地区更生保護女性会
8月5日（木）	9:00～12:00	「ヨーヨー釣り」	体験	6	4	10	〃
9月2日（木）	9:00～12:00	幼児家庭教育学級同時開催 「フラワーアレンジメント」	体験	4	10	14	（有）花勘　千葉和枝
10月7日（木）	9:00～12:00	「キャンディレイを作りましょう」		7	11	18	内牧地区更生保護女性会
11月4日（木）	9:00～12:00			8	12	20	〃
12月2日（木）	9:00～12:00	幼児家庭教育学級同時開催 「みんなで楽しもうみかん狩り」	体験	8	21	29	大塚果樹園
1月6日（木）	9:00～12:00	「ママたちのカフェタイム」		6	8	14	内牧地区更生保護女性会
2月3日（木）	9:00～12:00	中止		0	0	0	〃
3月3日（木）	9:00～12:00	中止		0	0	0	〃
10回	30時間			44	82	126	

企画運営上の工夫	子育て支援は、まずママさんたちを元気にすることを目的とし、各月ごとに企画を設け初対面でも話しやすく楽しんでもらえる環境を整えた。簡単な手作業をしながら、自然と会話ができるような企画を考案した。
成果 参加者の声など	コロナ感染予防による中止の影響で参加者が減少していた中、第1回幼教がきっかけとなり参加者が増えてきた。参加者の顔ぶれも定着しつつあり、ママさん同士の繋がりができてきているようだ。参加時に次回の予約をしてくれる方も多く、嬉しい限りである。
課題と展望	子供たちの成長が楽しみであり、それに伴う保護者の悩み等を察知するために、こまめにアンケートを活用するなどして、求めに応じた場づくりをしていくことが課題である。 せっかく増えてきた参加者を大事にしていきたい。

事業名 テーマ	うちまき緑のコンサート	対象	一般	定員	なし
ねらい	市内の文化団体が、日頃の活動の成果を発表し、地域の方々との交流を図る。 音楽環境を醸成することによって、地域の文化芸術の振興を目的とする。				
協力機関及び団体	公民館利用団体、個人　2組	特色位置づけ		SDGsの目標No	11
会場	内牧地区公民館　講堂	教材資料等	プログラム		
実施までの経過	1～3月中　出演団体交渉・出演依頼 4月 1日(水)　公民館だより4月号発行 4月上旬　関係者リハーサル調整	PR方法	公民館だより4月号掲載		
		受付方法	申込不要・直接公民館へ		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
5月16日(日)	13:30～15:30	コンサート	鑑賞	26	54	80	① マリンバ 渡邉 弥生 氏 遠藤 百合加 氏 ② 津軽三味線 瀬尾　智也氏 ③ ローズマリーバンド
1回	2時間			26	54	80	

企画運営上の工夫	出演者のジャンルを、「ジャズバンド」、「金管楽器」とバラエティに富むように工夫するとともに、1団体の演奏時間を長めに取り、観客がじっくりと聴けるようにした。
成果 参加者の声など	受付や運営についても感染予防対策など安心して鑑賞できたとの声が多かった。 ・消毒、換気、入場人数等しっかりと対応されており安心して楽しめた。 ・コロナ禍の中、この様なコンサートをありがとうございます。受付も密にならずに安心だった。
課題と展望	来年度以降もジャンルの違う形継続して実施したい。また、内牧地区で活動している方などを中心に出演していただけるようにしていきたい。

内牧地区　3

事業名 テーマ	内牧一区自主防災訓練	対象	一般	定員	なし
ねらい	避難訓練と避難所運営訓練を同時に行い、地区防災会活動の支援をする。 訓練を行うことにより、より安全な生活を送ることができる。				
協力機関及び団体	主催:内牧一区自主防災会 協力:防災対策課	特色 位置づけ		SDGsの目標No	11・17
会場	内牧南公民館　全体	教材 資料等			
実施までの経過	3月～　交渉 5月8日(金)　地区防災会、防災対策課及び公民館打合せ 6月3日(木)　1区地区長と最終打合せ	PR方法			
		受付方法			

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計		
6月5日(土)	10:00～11:30	消火訓練・AED訓練 地震体験	実習	14	10	24	防災対策課職員 春日部消防署職員
1回	1時間30分			14	10	24	

企画運営上の工夫	地区自主防災組織及び防災対策課との打合せに当初から参画し、情報共有をしながら事業を進めることが出来た。コロナ禍での実施のため、室内は密になりやすいために全ての訓練を屋外で行った。
成果 参加者の声など	コロナ禍での訓練ではあったが、たくさんの方に参加いただけた。 コロナ禍で外出等があまり出来ないストレスを解消出来た。 高齢化しているため、いざの行動が心配なので参加して良かったとのご意見もありました。
課題と展望	より実践的な防災訓練及び避難所運営訓練の実施を検討して行く。 また、特定の地区だけでなく、地域全体での防災訓練等が必要と思われる。

事業名 テーマ	スポーツ教室 第45回内牧地区婦人バレーボール及びソフトバレーボール大会	対象	内牧地区在住 18歳以上の女性	定員	なし
ねらい	地区内の女性たちが、スポーツを通して交流を図る				
協力機関及び団体	主催：内牧地区体育振興会 共催：内牧地区公民館、内牧南公民館 協力：共栄大学バレーボールサークル	特色位置づけ		SDGsの目標No	3
会場	共栄大学 体育館 内牧地区公民館 体育室（練習会場として）	教材資料等			
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※ 主催者（内牧地区体育振興会）より中止の連絡あり。	PR方法	公民館だより6月号掲載		
		受付方法			

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
6月20日（日）		バレーボール試合 ソフトバレーボール試合	試合				協力：共栄大学バレーボールサークル
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	

内牧地区　5

事業名 テーマ	第38回内牧地区少年少女球技大会	対　象	内牧地区の小学生	定員	200
ねらい	地域に育つ子ども達の交流と健康増進を図る				
協力機関 及び団体	主催：内牧地区自治会連合会 主管：内牧ソフトボール連盟 後援：内牧地区体育振興会	特　色 位置づけ	地域一体となった青少年の交流、健康増進を図る事業	SDGsの目標No	3
会　場	内牧小学校　校庭	教　材 資料等			
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期をしたが、結局は中止にした。 ※ 主催者（内牧地区体育振興会）より中止の連絡あり。	PR方法	公民館だより6月号掲載		
		受付方法			

月日（曜） 回　数	時　間 総時間数	内　容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏　名
8月1日（日）		ドッヂボール競技 キックベースボール競技 ※ なお、内牧地区自治会連合会と公民館の主催としての開催である。	実技				審判・スコアラー等は、内牧ソフトボール連盟中心の競技役員で対応。参加チームからも競技役員の選出をお願いする。
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	館報6月号への掲載のみでなく、各地区長に出席をお願いし、内牧地区全体の事業としての意識付けを行いながら実施する。
成　果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	

事業名 テーマ	家族ふれあい教室 うちまき蝶の観察会 ～お気に入りの蝶が見つかるかな～	対象	小学生と その家族	定員	約10家族
ねらい	夏休みを利用し、内牧地区の豊かな自然を活用した野外活動体験を通して、家族がふれ合える機会を提供する。また、地区内に生息する蝶の捕虫を実践し、観察し、学ぶことでさらに興味を持ち、楽しく学び合う家族の交流を図ることをねらいとする。				
協力機関及び団体		特色 位置づけ	内牧の自然を生かした講座	SDGsの目標№	15
会場	内牧公園（お花見広場付近）	教材 資料等	レジュメ、蝶リスト		
実施までの経過	4月17日（土）　講師折衝 5月15日（土）　第1回打ち合わせ 6月19日（土）　講師依頼書 第2回打ち合わせ ポスター掲示 6月26日（土）　受付開始 7月9日（金）　安心安全情報メール配信 7月25日（日）　実施	PR方法	館内ポスター・チラシ 子育て情報メール配信依頼		
		受付方法	直接または電話で内牧南公民館に申込み 先着順、定員になり次第締め切り		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
7月25日（日）	8:50 9:00～ 9:15～11:00 11:10～ 11:20	現地集合 講師紹介、諸注意 講義　蝶の説明と捕虫網の実演 捕蝶・昆虫観察 昆虫採集終了、講評 アンケート記入・回収 解散	実習	15	10	25	講師：伊藤有三
1回	約2時間30分			15	10	25	

企画運営上の工夫	・今年度は新型コロナウィルスの影響により他事業や小学校の行事等で、開催日の調整が困難であったため、例年より約1週間早めての日程を設定した。 ・参加者に家族単位で色分けしたタスキを着用してもらった。（一般と参加者の区分の為） ・新型コロナウィルス感染予防対策として、3蜜を避けるために現地集合解散とし、マスク着用・手指消毒を徹底し、また水分補給や休憩タイムを設け熱中症予防にも配慮した。
成果 参加者の声など	・コロナ禍で開催することが難しい状況ではあったが、家族揃って参加できることを楽しみにしている様子が伺えた。蝶に限らず「虫捕り」は世代や男女差など関係なく夢中になれ、この夏休みに野外で過ごせた良い思い出となる企画であった。また当事業が始まって以来、新種の蝶が2種発見され実りも大きかったように思う。
課題と展望	・当事業は自然環境、特に天候に左右されるので、晴れる確率の高い8月第一日曜日を設定することが常であった。ここ数年捕蝶される種類も限定されてきていたが、今年は日程を早めたことで新種を発見することも出来た。今後は、開催時期を再考し、また生物一般を対象にすることも検討して、家族で自然にふれあう楽しみを提供していきたい。

内牧地区　7

事業名 テーマ	青少年体験教室　　内容未定	対　象	小学生以下 保護者参加有	定員	
ねらい	学校の授業や家庭とは違った自由な形での物づくりを体験することにより、アイデアや想像力の向上を図る。				
協力機関及び団体	なし	特色 位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会　場	内牧地区公民館　講堂	教材 資料等	参加費　なし		
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	PR方法			
		受付方法			

月日(曜)	時　間	内　　容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏　　名
				男	女	合計	
回　数	総時間数			計	計		
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	

事業名 テーマ	青少年体験教室 「内牧地区夏休み子ども納涼祭」	対象	内牧地区の子ども	定員	なし
ねらい	地域の子ども同士が交流を図り、普段なかなか体験することの無い事業を行い、夏休みの思い出づくりのひとつとする。				
協力機関及び団体	生涯学習市民推進員（内牧地区）、 春日部市赤十字奉仕団内牧地区	特色 位置づけ	小学校の学年間を越えた青少年の交流の機会をつくる	SDGsの目標No	4・11
会場	内牧地区公民館　講堂、研修室Ⅰ・Ⅱ 和室、実習室	教材 資料等			
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	PR方法			
		受付方法			

月日（曜）		内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	

内牧地区　9

事業名 テーマ	内牧ふれあい講座	対　象	概ね60歳以上の方	定員	なし
ねらい	高齢者が健康で生きがいのある楽しい人生を送るための講座開催による学習機会を作る。				
協力機関及び団体	共催　いきいきクラブ内牧地区連合会	特色位置づけ	高齢者同士の交流及び高齢者の健康・生きがいづくりに特化した事業	SDGsの目標No	3
会　場	内牧地区公民館　講堂及び館外	教材資料等	レジュメ		
実施までの経過	3月18日(木)　第1回打合せ 5月14日(金)　第2回打合せ 6月　1日(火)　館報掲載 6月25日(金)　参加受付開始	PR方法	公民館だより6月号掲載		
		受付方法	各クラブ会長に取りまとめを依頼(各クラブ会員) 電話または直接申し込む(一般)		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
第１日目 7月14日(水)	10:00～12:00	開講式 「振り込め詐欺防止について」	講義	3	26	29	交通防犯課職員
第２日目 7月28日(水)	9:00～11:00	「内牧散策ウォーキング」	実技	－	－	－	内牧地区公民館職員 台風の為、中止
第３日目 8月18日(水)	10:00～12:00	閉講式 「軽スポーツ体験」	実技	3	18	21	スポーツ推進課職員
2回	4時間			6	44	50	

企画運営上の工夫	今年度は全5回を3回にして開催した。 共催団体のいきいきクラブ内牧地区連合会の役員と共に事業内容を検討した。 コロナ過で外出等の自粛のストレス解消を目的に実技を多く企画した。 (常に3密にならないように参加者に注意を促し開催した)
成果 参加者の声など	コロナ過ではあったが、2回開催が出来た。実技系の講座の希望が多かった。 ウォーキングが中止になり、がっかりしていた。今回は、午前中の開催が好評だった。 例年通りにバス研修や給食体験を復活させて欲しいとの要望がありました。
課題と展望	コロナ過で開催した為、申込３６名中で参加は２/３しか集まらなかったので、参加者が増えるような企画を考えていく。 午前中の開催が好評であったので、次年度以降も同じように企画したい。 講演を聞くだけでなく、参加者同士が意見交換出来る企画を考えていく。

事業名 テーマ	令和3年度　市民体育祭 第66回 内牧地区大会	対象	地区住民	定員	なし
ねらい	地域住民の健康増進・体力向上、住民相互の交流を図る。				
協力機関及び団体	主催:春日部市・内牧地区自治会連合会　　主管:内牧地区体育振興会 後援:春日部市コミュニテイ推進協議会	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	3
会場	内牧小学校　校庭	教材資料等	競技台本、プログラム		
実施までの経過	5月末　　中止決定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	PR方法	公民館だより8月号掲載 8月末にプログラムを全戸配布		
		受付方法	地区対抗種目の出場選手については地区毎に取りまとめ、所定の申込書で内牧地区公民館へ申し込む。自由参加種目は当日招集する。		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計		
10月10日(日)			競技				大会役員 競技役員
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	

内牧地区　11

事業名 テーマ	趣味の講座④ フラワーアレンジメント教室	対象	一般	定員	10名
ねらい	余暇の時間の有効活用及び学習機会の提供を図る。				
協力機関及び団体		特色	重点事業	SDGsの目標No	4・11
会場	内牧地区公民館　講堂	教材資料等	生花等講師が準備 参加者負担金　2,000円		
実施までの予定	9月上旬　講師に打診 9月下旬　日程調整 10月　公民館だより掲載 11月　最終打ち合わせ 11月中旬　募集開始 12月上旬　最終人数報告 12月8日（水）実施	PR方法	公民館だより10月号に掲載		
		受付方法	電話又は、直接申込		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
12月8日（水）	10時～ 11時30分	フラワーアレンジメント クリスマスバージョン	体験	1	12	13	（有）花勘 千葉　和枝
1回	1時間30分			1	12	13	

企画運営上の工夫	季節の花を使ったフラワーアレンジメントを通じて、参加者同士の交流を図りながら楽しく学べる講座としたい。昨年11月に開催した同講座のハロウィンバージョンの反響が大きく今回はクリスマスバージョンとした。普段なかなか体験できない講座を提供し参加者の趣味の一つとなってもらいたい。
成果 参加者の声など	昨年の参加者や事業報告をみた方からの実施希望が多く寄せられていたため今回時期を変更して実施した。それぞれ個性ある素敵な作品ができあがった。アンケート結果からも一足早いクリスマスに参加者は喜んでいた。
課題と展望	今年度で2回目の開催となるが、これからも時期を変えてその季節にあったバージョンの作品を提供したい。

事業名 テーマ	内牧地区福祉大会	対　象	地域住民	定員	なし
ねらい	地域の高齢者同士が互いに支えあい、活力ある地域社会づくりの担い手として活動し、社会福祉の一層の充実と発展に寄与することを目的する。				
協力機関及び団体	主催：春日部市いきいきクラブ 内牧地区連合会	特色 位置づけ	地域の高齢者の日頃の活動の成果を発表する。	SDGsの目標No	3
会　場	内牧地区公民館　講堂	教材 資料等	プログラム		
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※ 主催者（春日部市いきいきクラブ内牧地区連合会）より中止の連絡あり。	PR方法	内牧地区連合会で地域へ広報と一般参加の受付を行う		
		受付方法	開催時間中の観覧は自由		

月日（曜） 回　数	時　間 総時間数	内　容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏　名
10月24日（土）		式典 参加者による舞台発表 （歌・民踊など）	観覧				
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	参加者が高齢者であり、歌（カラオケ）による飛沫拡散や会食を伴うため、リスクが大きい。 そのため、今後の開催可否を含め、現在の内容を全面的に見直す必要がある。

内牧地区　13

事業名 テーマ	趣味の講座① 　コロナ疲れに活力、自彊術にトライ！	対象	成人一般	定員	15人
ねらい	コロナ禍で、特にこの冬に体調を崩しがちな方や運動不足が気になる方に、年齢や男女別に関係なく出来き、免疫力アップにつながる自彊術を学んでもらう。				
協力機関及び団体	Jikyoクラブメンバー	特　色	重点事業	SDGsの目標№	4・11
会場	内牧南公民館　大会議室	教材資料等	自彊術資料（講師が用意）		
実施までの経過	5月上旬　講師折衝 6月15日（火）　打合せ 7月20日（火）　講師依頼書送付 8月19日（木）　ポスター掲示、チラシ配架 9月14日（火）　申込み受付開始 9月30日（木）　安全情報メール配信 10月19日（火）　実施	PR方法	ポスターの掲示依頼 館内ポスター掲示及びチラシ配架 安心安全情報メール配信		
		受付方法	内牧南公民館へ直接窓口、 又は電話にて受付（参加費　無料）		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	定員数（予定）男計	女計	合計	講師・助言者の職名 氏名
10月19日（火）	10:00～12:00	自彊術の指導	実技	4	8	12	田島　茅里 （Jikyoクラブ講師） 他、Jikyoクラブのメンバー4名
1回	2時間			4	8	12	

企画運営上の工夫	昨年度はコロナ感染拡大防止により中止となった為、今年度はワクチン接種が進みより実施可能な時期を選んだ。コロナ禍で安心してできる事業にするため、大会議室が使用できるよう他サークルに協力をお願いし、感染予防対策も十分にして行った。自彊術をより理解していただくため、解説を丁寧にゆっくりと指導していただき、サークルのメンバーにもサポートをお願いした。
成果 参加者の声など	コロナ感染拡大が下火となり、時期的に好機であった為か参加者受付の反応が良かった。またこれまでにない男性の参加者が4名あり、男女数バランスの取れた事業となった。自彊術は正しく行うことで効果があるので、サポートをつけ一人一人にきめ細やか指導したことが好評を得た。なじみの少ない自彊術を知っていただく良い機会となったようだ。
課題と展望	コロナ感染予防のために使用したハンズフリーマイクの音が聞きづらいとの指摘があり、事前準備が不足していた。概ね「ねらい」を達成できた事業であったと思う。運動系の事業は以前から、複数回やって欲しいとの要望があり、今後も参加しやすい企画を提供していきたい。

事業名 テーマ	令和3年度 第32回内牧地区文化祭	対象	地域住民	定員	なし
ねらい	地区内で文化的活動をしているサークル・個人の紹介と発表の場を設け、地域還元を図ると共に、多くの方に芸術や地域文化の素晴らしさを味わってもらう。				
協力機関及び団体	主催：内牧地区自治会連合会 主管：内牧地区文化祭実行委員会	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	11
会場	内牧地区公民館　全館	教材資料等	進行台帳、プログラム等		
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	PR方法	公民館だより8月号		
		受付方法			

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
11月前半の土・日曜日(期日決定前)							
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	公民館の貸館停止に伴い、従来から利用していた団体・個人の来館が減ってしまい、練習並びに発表の場が減ってしまった。 会場の"密"を避けつつ、何らかの形で発表する場を確保する方法を検討する。

内牧地区　15

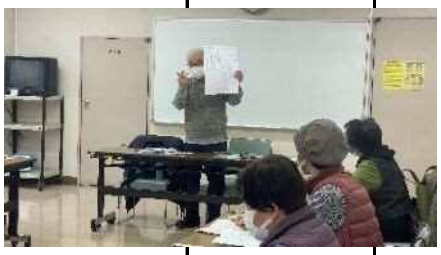
事業名 テーマ	パパママの子育て学級 （幼児家庭教育学級）	対象	3歳前後の 幼児と保護者	定員	第1回:10組 第2回:10組 第3回:10組
ねらい	子どもたちの健やかな成長を願い、人間形成の上で最も重要な時期である幼児期の発達段階を正しく理解し、望ましい親子関係や家庭環境、健康生活について学ぶ。同世代の子どもを持つ親同士で交流することで、パパママ同士の繋がりを生み出す。				
協力機関及び団体	内牧地区更生保護女性会	特色	重点事業	SDGsの目標№	3
会場	第1回:内牧南公民館 第2回:内牧南公民館 第3回:大塚果樹園	教材資料等	第1回:講師用意 第2回:講師用意 第3回:なし		
実施までの予定	2月～3月　実施内容検討、講師交渉 4月　公民館だより4月号掲載 第1回講師と打ち合わせ 参加者募集 6月3日(木)　実施 8月　公民館だより8月号掲載 第2回講師と打ち合わせ 9月2日(木)　実施 9月下旬　大塚果樹園と実施相談 10月　公民館だより10月号掲載 12月2日(木)　実施	PR方法	(1)子育てサロン「うちまきプレイルーム」参加者にチラシ配布 (2)公民館だより掲載 (3)館内、他公民館にポスター掲示・チラシ配架・メール配信		
		受付方法	第1回、第2回、第3回ともに 電話又は、直接申込		

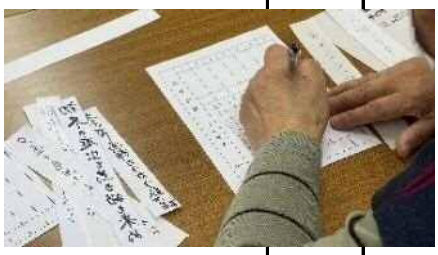
月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
6月3日(木)	10:30～11:30	「たのしさ100%プレゼント」	体験	3	10	13	山森澄子・山田優子
9月2日(木)	10:30～11:30	「フラワーアレンジメント」	体験	4	10	14	花勘　千葉　和枝
12月2日(木)	10:30～11:30	「みんなでたのしもう！　みかん狩り」	体験	8	21	29	大塚果樹園
3回	3時間			15	41	56	

企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて申込制として行う。マスクの着用・手指のアルコール消毒・換気を行う。今年度は、子どもと一緒に楽しめるようにすべて体験型とした。 1回目に親子で参加でき他館でも人気の講師を依頼し、募集人数を確保できるようにした。 次回の幼教の内容をお知らせし、参加者が集まるような企画を考案する為は初めての内容もとりいれた。
成果 参加者の声など	1回目に親子で参加できる人気講師の企画をしたため例年より多くの参加者が集まった。 そこから親子の仲間ができたり口コミでひろがり参加者には3回とも好評で楽しんでいただけた。コロナ禍の開催であったが、講師は子育て経験者であり、感染予防対策に協力をしてくれた為安心して参加していただけた。
課題と展望	今後も1回目の開催内容は重要であると考える。親子で楽しむという観点から体験型・鑑賞型の内容が好まれるので今後も感染予防対策を十分に考慮して内容を考案したい。 また、内牧ならではのみかん狩りは例年通り続けたい。

事業名 テーマ	教養講座① やさしい俳句教室	対象	成人一般	定員	12名
ねらい	余暇の時間を利用して、住民の教養を向上させる機会を提供する。				
協力機関及び団体	花野俳句会	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4・11
会場	内牧地区公民館　研修室1 内牧地区公民館周辺	教材資料等	テキスト「俳句とは」、「やさしい俳句教室」、短冊、互選用紙等		
実施までの経過	6月　講師と打ち合わせ 10月　公民館だより10月号発行 11月 4日(木)　参加申込み開始 12月 2日(木)　参加申し込み締め切り 12月 3日(金)　前日準備	PR方法	公民館だより10月号、広報かすかべ11月号掲載、ポスター掲示		
		受付方法	11/4(木)～12/3(金)に電話または窓口で申込み(先着順)		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
① 12月 4日(土)	13:30～16:00	俳句についての基礎学習	講義・散策	3	6	9	磯谷　健治 (生涯学習市民推進員)
② 12月18日(土)	13:30～15:30	句会	演習	3	6	9	
2回	4時間30分			6	12	18	





企画運営上の工夫	昨年度に引き続き、地区内の生涯学習市民推進員に講師を依頼し、進め方については、初日は吟行と講義形式、2日目は句会形式で実施した。今回も公民館利用サークルである「花野俳句会」に運営協力をいただいた。
成果 参加者の声など	受講者の皆さんも初心者にもかかわらず複数の句を作ってこられ、白熱する句会となった。 参加者の中には、花野俳句会への加入希望される方もいた。
課題と展望	今回、初めて、内牧地区公民館に会場を移して行った。 吟行は、屋外での活動となるため、天候に左右されるのはやむを得ないと思われる。 両日地区公民館で行ったことでスムーズな事業展開ができた。

内牧地区　17

事業名 テーマ	公民館利用者のつどい	対象	公民館利用団体代表者及びサークル会員	定員	なし
ねらい	公民館利用者相互の交流を図り、公民館活動の活性化を図るとともに、公民館利用の基本事項の確認等で利用の適正化を促す。併せて、人権意識の啓発及び防災意識の向上を図る。				
協力機関及び団体	春日部市消防本部	特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会場	内牧南公民館 内牧地区公民館	教材資料等	公民館利用者のつどい資料 自衛消防訓練		
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	PR方法	公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布		
		受付方法	当日、窓口にて		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
2月5日(土) 内牧南公民館	10:30～12:00	中止					公民館職員 (臨時職員含む)
内牧地区公民館	15:00～16:30	中止					公民館職員 (シルバー含む)
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	コロナウイルス感染拡大防止に伴い、利用者のつどい・人権研修・自衛消防訓練を中止とした。 開催通知は来館日に手渡しとし、郵送は取りやめた。
成果 参加者の声など	
課題と展望	

事業名 テーマ	小学生期家庭教育学級	対象	小学生の保護者及び一般	定員	20名
ねらい	小学生期における家庭教育の重要性を認識し、親として望ましいあり方について学ぶ。				
協力機関及び団体	共催：内牧小学校PTA	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	3・17
会場	内牧地区公民館	教材資料等			
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※ 内牧小学校PTAと連絡取れず	PR方法			
		受付方法			

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
2月18日（金）		未定					
0回	0時間			0	0	0	

企画運営上の工夫	
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
課題と展望	

内牧地区　19

事業名 テーマ	趣味の講座③ アロマキャンドル・紙袋ランタンづくり	対象	一般	定員	なし
ねらい	簡単な創作活動を通して趣味となる活動を増やし生活の充実を図る。 また、幅広い世代を対象として活動を行うことで世代間交流ができるようにする。				
協力機関及び団体		特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4・11
会場	内牧南公民館　調理室	教材資料等	紙袋、ろうそく、クレヨン、折り紙		
実施までの経過	12月中旬　事前準備・試作 参加者募集	PR方法	公民館だより掲載 館内ポスター・チラシ		
		受付方法	12/15から電話・来館で受付		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
1月 15日(土)	10:00～12:00			0	7	7	公民館職員
1回	2時間			0	7	7	

企画運営上の工夫	簡単な創作活動を通しての交流や個性を出して創造性を高める活動とした。 コロナウイルス感染防止のため、以下の措置を講じた。 ・部屋の定員よりさらに座席数を減らし体験場所の間隔を広げた。 ・入場の際に検温と消毒を行った。
成果 参加者の声など	少人数で行うことで運営がしやすく一人ひとりの様子を確認ができた。 参加者の声　・初めてなので楽しかった。 ほかのクラフトもしてみたい
課題と展望	次年度以降も簡単なクラフトを用意し実施していきたい。 公民館職員の中でもスキルの共有を図りそれぞれの館で同じような事業を展開していけるとよい。

事業名 テーマ	趣味の講座 うちまき南　遊楽座　～将棋～	対象	一般	定員	なし
ねらい	月1回開放日とし、大人が気軽に学び、楽しむことのできる場とする。また出会いの場を提供することにより、共感、共通の興味を持った方の公民館活動のきっかけを図る。				
協力機関及び団体		特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標№	4・11
会場	内牧南公民館　講習室	教材資料等	将棋用具一式		
実施までの経過	4月初旬　　事業計画提出	PR方法	公民館だより掲載 館内ポスター・チラシ		
		受付方法	開催時間中に自由参加		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月14日(水)	9:00～12:00	将棋	交流対局	5	0	5	
5月12日(水)	9:00～12:00	将棋		5	0	5	
6月9日(水)	9:00～12:00	将棋		5	0	5	
7月14日(水)	9:00～12:00	将棋		5	0	5	
8月11日(水)	9:00～12:00	将棋		3	0	3	
9月8日(水)	9:00～12:00	将棋		5	0	5	
10月13日(水)	9:00～12:00	将棋		5	0	5	
11月10日(水)	9:00～12:00	将棋		4	0	4	
12月8日(水)	9:00～12:00	将棋		4	0	4	
1月12日(水)	9:00～12:00	将棋		4	0	4	
2月9日(水)	9:00～12:00	まん延防止措置により中止		0	0	0	
3月9日(水)	9:00～12:00	将棋		7	0	7	
11回	33時間			52	0	52	

企画運営上の工夫	空き時間の有効活用。趣味、仲間づくりのっきっかけを提案。サークル設立を提案。 コロナ感染予防対策として、用具の除菌、フェイスシールドの着用を徹底した。
成果 参加者の声など	サークル化が実現して、将棋に興ずる機会が増えたことで、仲間同士の連帯感が出来てきたようだ。 最終回に新たな参加者があり、仲間が増えてきた。
課題と展望	サークル化が実現し当初の目的が達成できたことのより、今年度で将棋としての『遊楽座』を中止とすることとした。参加者が固定し仲間意識がてきていることは喜ばしい反面、相手がいないと対局が成立しないものなので、仲間を増やしていけるよう、今後は広報面でサークル活動を支援していき、新たに他のジャンルでの企画を模索・検討していきたい。

内牧地区　21

事業名 テーマ	教養講座② うちまき歴史探訪ツアー「塚内古墳群のある集落を訪ねて」～迅速測図を読み解きながら～	対象	一般	定員	20名
ねらい	地域住民に内牧の史跡を紹介し、郷土愛を深めてもらうとともに、歴史を学ぶことで教養の向上を図る。また、地域住民以外の方にも参加していただき、内牧の魅力をPRする。				
協力機関及び団体		特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4・11
会場	内牧地区内 (雨天時)中止	教材資料等	しおり(配布)、壁新聞(館内掲示)		
実施までの経過	12月上旬　打ち合わせ 2月24日(木)　講師依頼 現地踏査(講師と) 拝観依頼配布	PR方法	公民館だより2月号掲載、安心安全メール配信、他公民館にチラシ配架		
		受付方法	2/18(金)から内牧地区公民館の窓口又は電話で受付		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
3月10日(木)	13:00～15:40	塚内古墳群ある集落を歩いて迅速測図から読み取れる歴史について学ぶ。 内牧南公民館(13:00集合) → 藤盛稲荷社→ 王千寺 → 6号墳(N家邸内)→ 3号墳(I家邸内) → 4号墳(U家邸内))→ 庶民信仰 → 迅速測図に見る茶畑 → 旧観音院→ I家江戸時代後期の家 → 9号墳(O家邸内) 内牧南民館(15:40帰館・15:40解散)	散策見学	5	11	16	内牧フォークロア 高橋　昌子
1回	2時間40分			5	11	16	

企画運営上の工夫	事前に講師と打ち合わせや現地踏査を重ね、交通量が多いところの確認を行い、参加者の安全や健康面を第一に考えたルートを設定した。開催日を平日に設定した。また、現地拝観依頼先の方々と話しをして見どころや散策に適した場所のコースを教えて頂いた。参加者が事業終了後も学びを継続できる資料として残せる「しおり」として探訪する史跡の解説文とガイドマップを作成し、当日参加者に配布した。拡声器を用意し講師の説明が聞き取りやすいようにした。
成果 参加者の声など	コロナ渦での実施となったが屋外での実施であったため説明時に参加者同士で間隔をとることで感染リスクを減らしながら実施ができた。 参加者からの声　・内牧の歴史を再確認できた　・古墳が身近にあって驚いた。
課題と展望	参加者は集まったが屋外での実施のため聞き取りにくい場合があった。 参加者数を検討する必要がある。 文化財保護課の職員と連携しより充実した内容にできたら良い。

事業名 テーマ	公民館だより「うちまき」発行	対　象	内牧地区内世帯	定員	約4,700部
ねらい	公民館事業のPRや事業報告、地区内社会教育団体の活動PR、地域情報などを地域住民に提供する。				
協力機関及び団体	内牧地区自治会連合会	特　色 位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会　場		教　材 資料等			
実施までの経過	発行月の前月中旬に原稿作成・印刷 広報かすかべと隔月同日配布 （偶数月１日発行）	PR方法			
		受付方法			

月日（曜） 回　数	時　間 総時間数	内　　容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏　名
偶数月1回 特別号2回		主催事業等の情報提供 特別号の作成 体育祭・文化祭→ 配布なし 内牧地区内 約4，700部を配布					公民館職員で作成
8回				0	0	0	

企画運営上の工夫	昨年度に引き続き2色刷りプリントで印刷を行い、インク代と紙代のコスト削減を行った。 内牧南公民館では新規事業も実施したので、その広報を見やすくできるよう工夫した。また、既存の事業や地域情報、事業報告もできるだけ見やすい紙面になるよう文字だけでなく、写真や絵などを入れレイアウトを考えた。
成果 参加者の声など	公民館事業開催の情報だけでなく、地域で実施した催しが取材できた場合はその様子も掲載しているので、興味をもって見ていただけている方が多い。
課題と展望	2か月に1回の発行であるため、特に新規事業を掲載する場合は、いつが良いのかをよく検討する必要がある。